

SPORTS INJECTION KIT

B18Cエンジン仕様 取付説明書 (DC2)

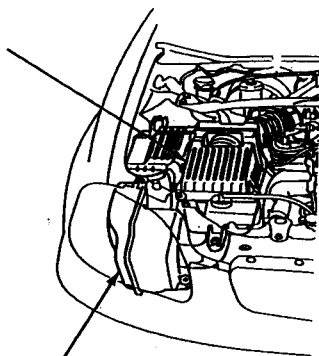
注意

1. このキットは競技車専用ですので、一般公道での使用はできません。
2. 取付作業をする前に必ずこの説明書を読んで下さい。
3. この商品の仕様や外観等は改良のため予告なく変更することがあります。

取付手順

1. バッテリーのマイナス端子を外して下さい。
2. ラジエター液を抜いて下さい。(水温が高いときには注意して下さい。)
3. ストラット バーを取り外して下さい。
4. 吸気温度センサ カプラをはずし、エア クリーナー ケース、エア フロー チューブ、レゾネータをアッセンブリで取り外して下さい。

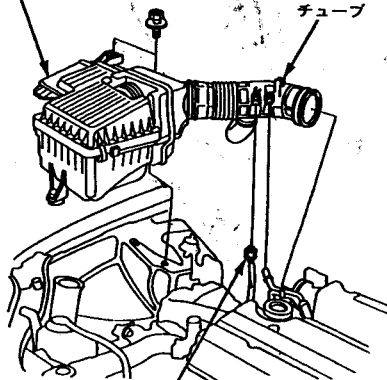
エア クリーナ



レゾネータ

エア クリーナ
ケース

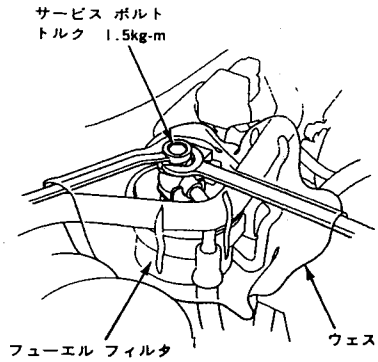
エア フロー
チューブ



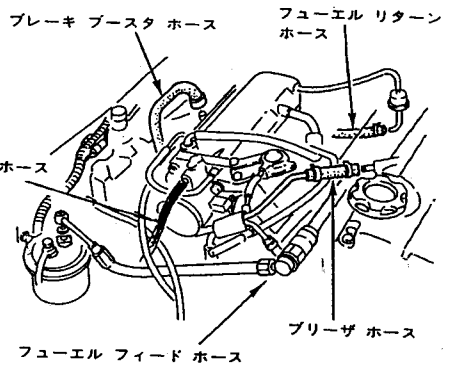
吸気温度センサ
カプラ

5. 燃料配管系に圧力がかかっているため、
 フューエルフィルター上部の6mm
 サービスボルトの上にウエス等を被せて
 ボルトをゆっくり1回転ほど緩めて
 燃圧を抜いて下さい。

(火気厳禁)



6. フューエルフィードホース及び
 フューエルリターンホースを取り外して
 下さい。
 このときガソリンが流出するのでウエス等
 吸い取る (火気厳禁)



7. ブレーキブースターホースを取り外して
 下さい。

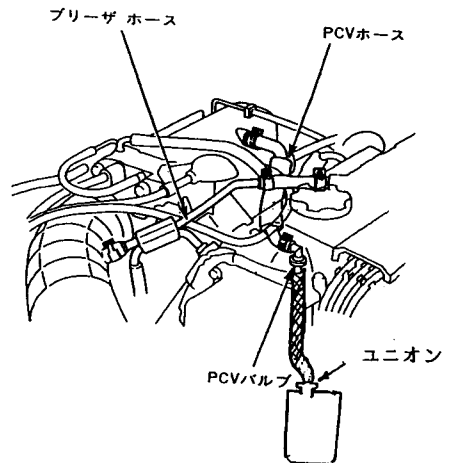
キャニスタホースをキャニスタ側で
 外して下さい。(大気開放)

PCVバルブの下側のホースを取り
 外して下さい。

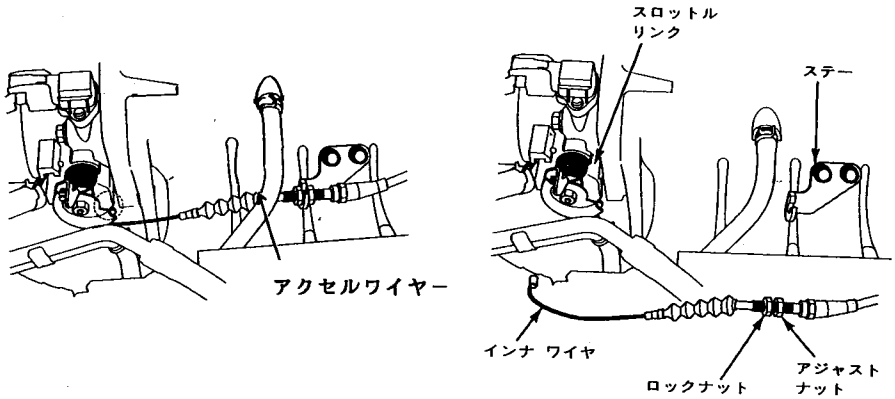
ホースのみ外し、タンク側にユニオンは
 残し大気開放。

オイルキャッチタンク装着の場合は、
 タンクに接続。

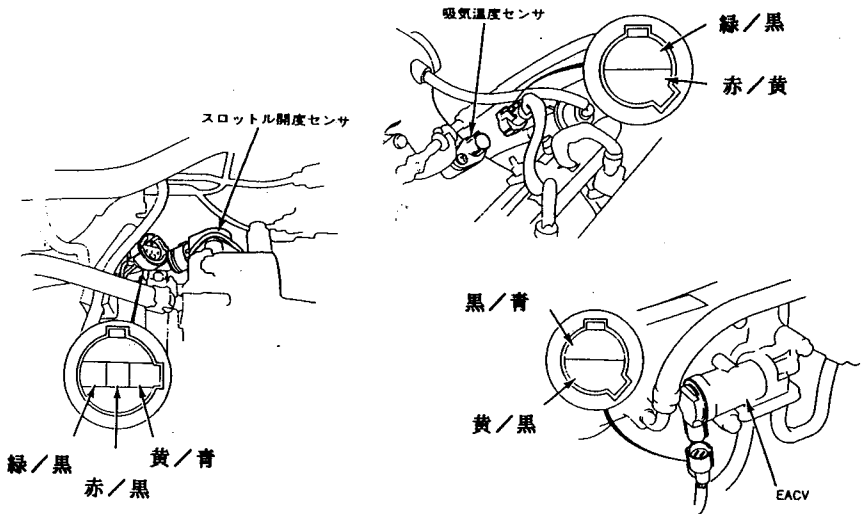
ブリーザーホースをエンジン側で
 外して下さい。



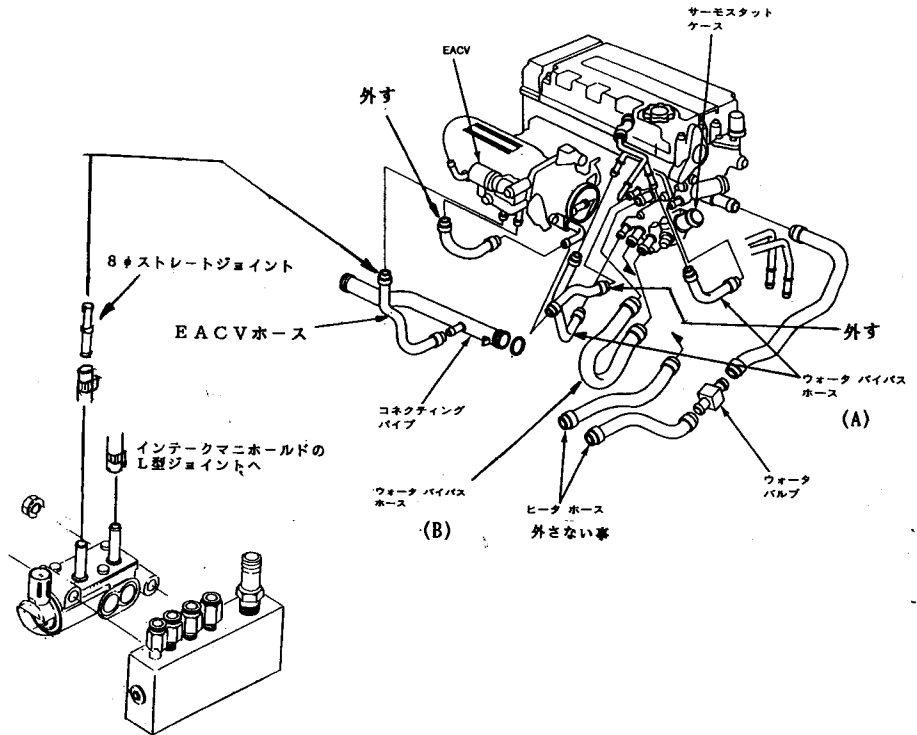
8. アクセルワイヤーを取り外して下さい。



9. スロットルセンサー、インジェクター、吸気温度センサー、EACVのカプラーの接続を外して下さい。



10. インテークマニホールド回りから冷却関連のホース類をはずして下さい。



・ウォータ バイパス ホース (A) をはずしキット中のホースで接続 (ステンバンド使用)

*ウォータ バイパス ホース (B) の上部をはずし交換後のマニホールドのジョイントに接続

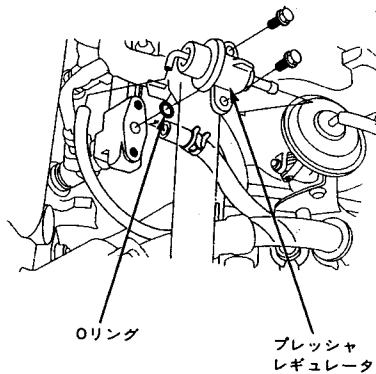
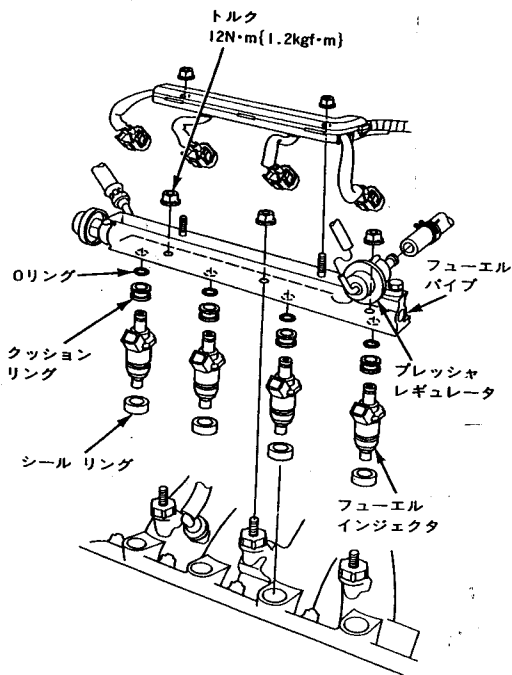
*EACVホースを上部ではずし、8φストレートジョイントを使い、ホースを延長しアイドルアップアダプターの片方に接続する。(ステンバンド使用)

*アイドルアップアダプターのもう片方は、インテークマニホールドのL型ジョイントに接続する。(ステンバンド使用)

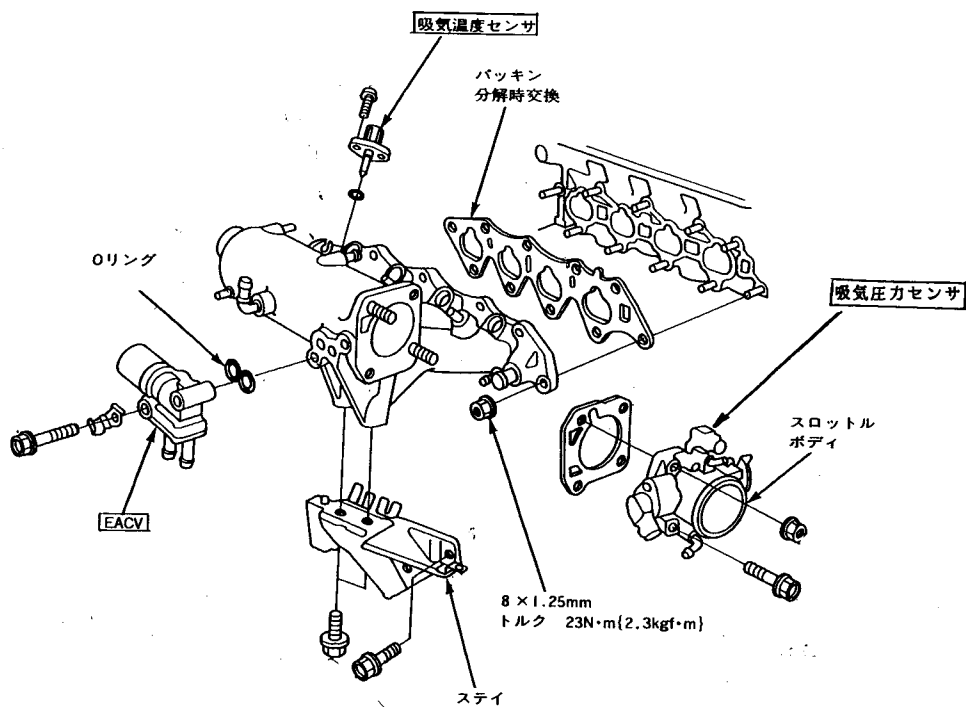
尚、*印の作業は、インテークマニホールド取付後に行う。

11. 3個のフューエルパイプ締め付けナットをはずし、フューエルパイプをはずし、同時にフューエルパイプからプレッシャーレギュレーターを取り外しておいて下さい。

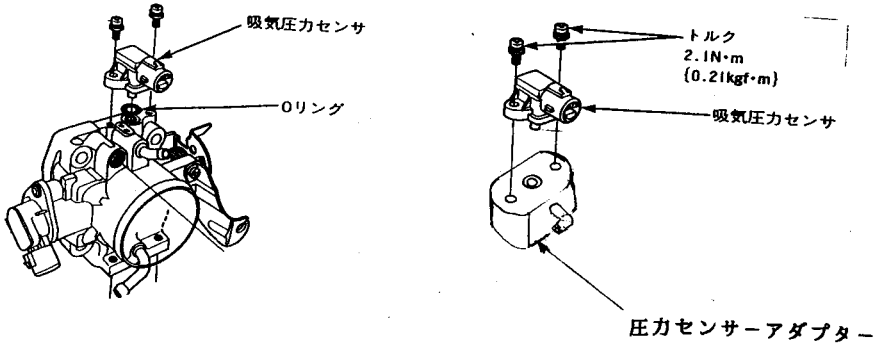
(注意) Oリング、クッションリング、シールリング、等は再使用のためなくさないようにして下さい。



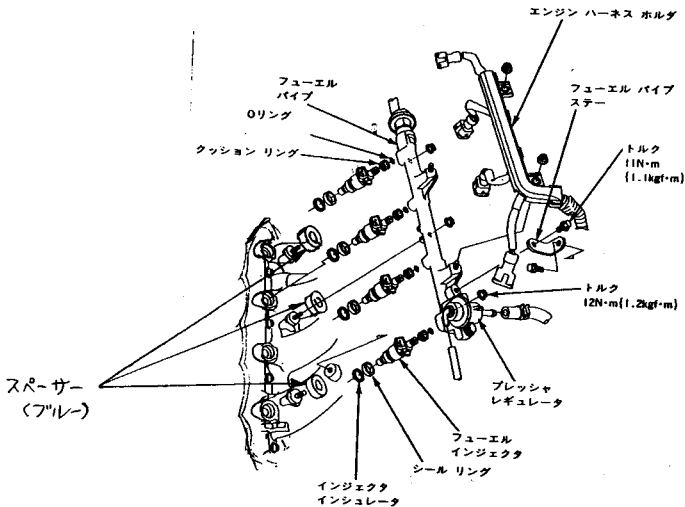
12. インテークマニホールドの取り外し
 M8ナット10個と、インテークマニホールドステーのボルト2本をとり、
 インテークマニホールドをはずし同時にインテークマニホールドステーも
 はずして下さい。
13. 外したインテークマニホールドより吸気温度センサー、圧力センサー、EACVを
 取り外して下さい。
 (注意) 取り外す時にOリングはなくさないよう注意して下さい。



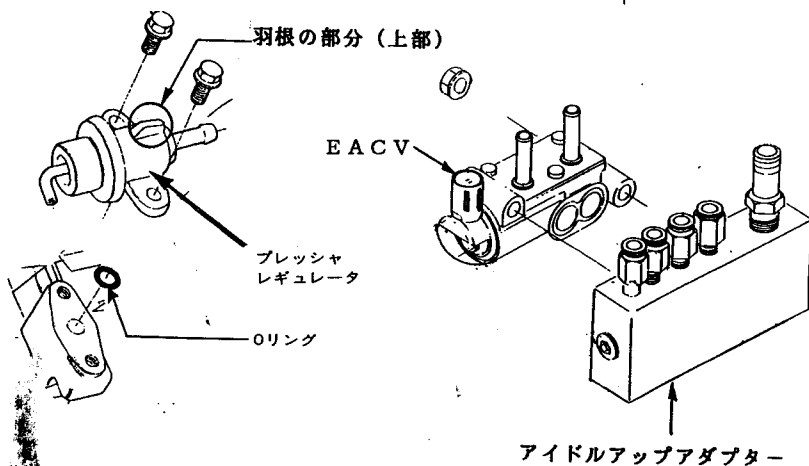
14. スポーツインジェクション用マニホールドに吸気圧センサーを取り付け、付属の圧力センサーアダプターに圧力センサーを、コードの届く範囲内の適当な場所に取り付けて下さい。尚、取付ボルトは、ノーマルを再使用します。



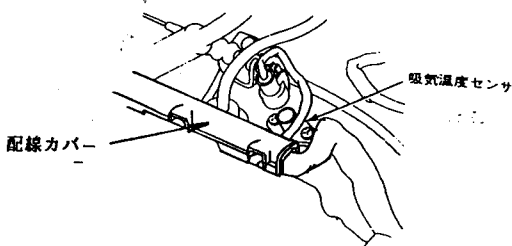
15. クッションリング及びオイルを塗布したOリングをインジェクターの溝にセットし、4本のインジェクターをヒューエルパイプに取り付けて下さい。
16. エンジンオイルを塗布したシールリングをスポーツインジェクション用マニホールドに取り付け、15でセットしたヒューエルパイプをマニホールドに取り付けて下さい。尚、ヒューエルパイプの取り付けは付属のスペーサー（ブルー）を入れ付属のボルトにて行って下さい。



17. フュエルレギュレーターの羽根（上部）がマニホールドのリンクージシャフトに当たる場合は、リンクージシャフトに接触しないように羽根の部分（上部）を削って取り付け下さい。
尚、その時にレギュレーターの本体まで削らないように注意して下さい。
6. で外したリターンホースを再度レギュレーターに取り付けて下さい。
18. キット内のアイドルアップアダプターにEACVを取り付けて下さい。



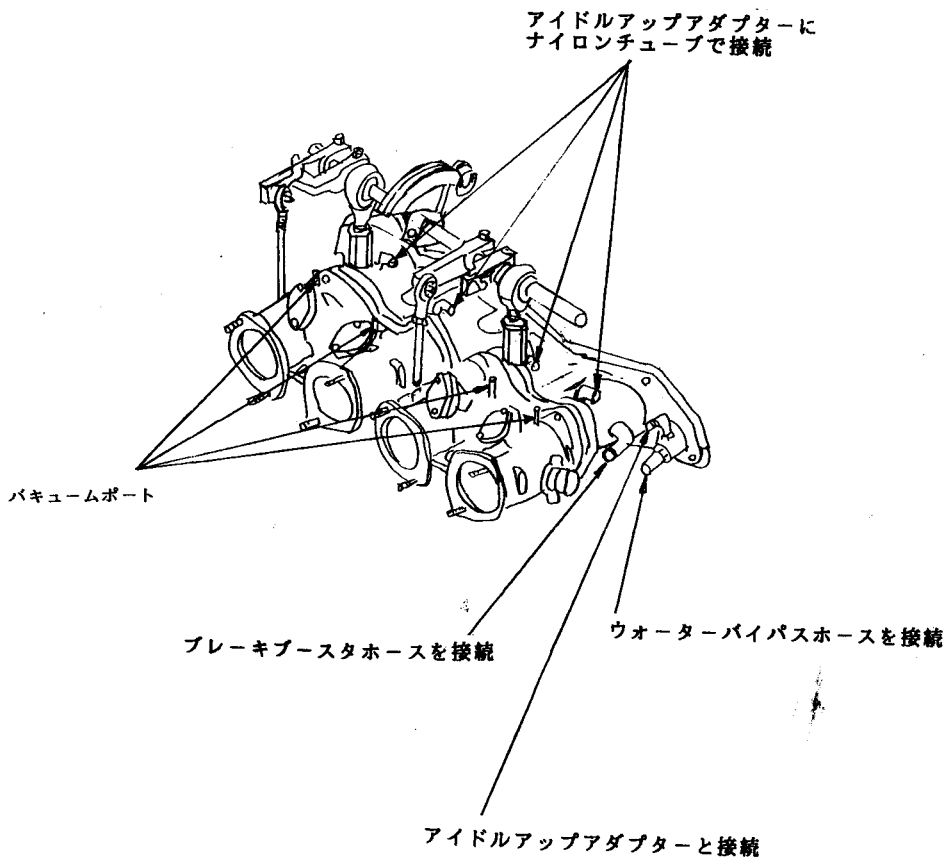
19. スロットルセンサー、EACVのカブラー線を途中で切断し、付属のコードを使用して延長する。同時にその回りの配線、配管はマニホールド取付時に邪魔にならないようにタイラップでまとめて下さい。



20. インテークマニホールドの取付

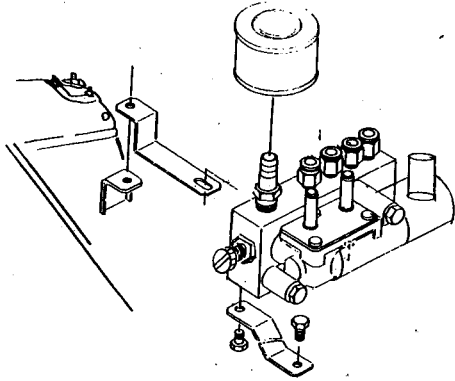
マニホールドガスケットは付属の新品と交換し、温水通路の回りだけ液体ガスケットを塗布し均等に締め付けて下さい。

インジェクターのワイヤーハーネスが短い場合は、ハーネスケースを外しておくとう便利です。



21. アイドルアップアダプタを取付けて下さい。

クリーナーASSYを取り外したボルト穴の位置に取り付けて下さい。



22. 温水の配管をして下さい。

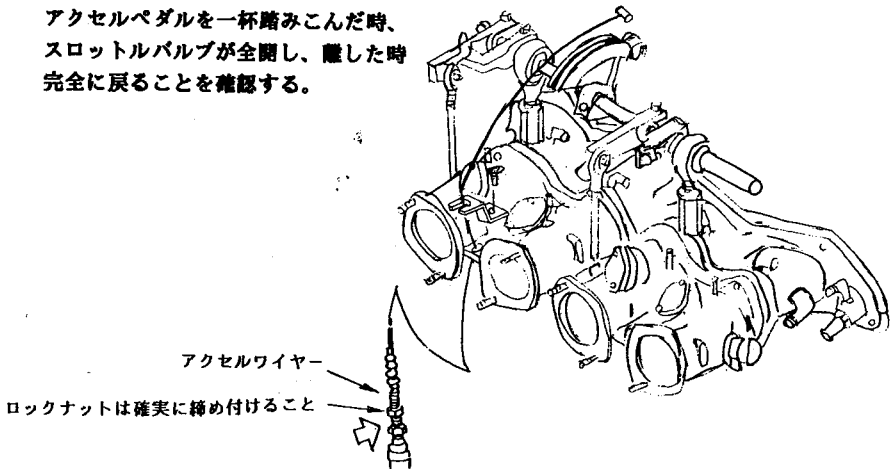
ウォーターバイパスホース (B) を接続して下さい。

(4ページの10, 9ページの19を参照)

23. アクセルワイヤーを取付けて下さい。

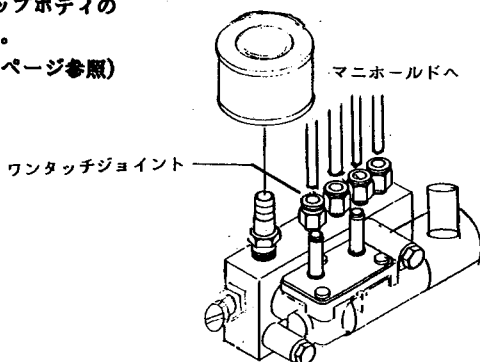
インナーワイヤーは少し遊びをもたして下さい。(遊びがないと戻り不良になります。)

アクセルペダルを一杯踏みこんだ時、スロットルバルブが全開し、離れた時完全に戻ることを確認する。



24. ナイロンチューブの配管をして下さい。
マニホールド ~ アイドルアップボディの
ワンタッチジョイント間を接続。

(9ページ参照)



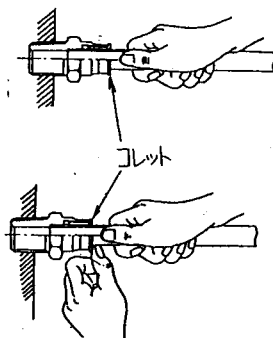
ワンタッチジョイントの取扱い。

取付方法

- チューブを鋭利な刃物 (カッターナイフ等) で直角に切る。
- チューブをコレット内部に挿入しチューブ止めに当たるまで (抵抗を強く感じるまで) 強く押す。

取り外し方法

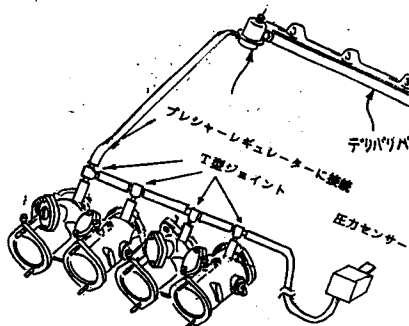
- コレット先端部を指で押しながらチューブを抜く。



25. ブレーキブースターホースを配管して下さい。

4ページで外した分を取り付けるクリップバンドは、もと付いていた物を使用。
(4番ポートのユニオンに接続)

26. 圧力センサーに配管して下さい。(4φホースとTジョイントを使用)



27. 燃料配管、バキュームホース、温水ホース等をチェックして、ラジエター冷却水を入れバッテリー端子を接続して下さい。

28. イグニションスイッチをON (スターターは絶対に回さない) にすると、フューエルポンプが約2秒間作動して高圧燃料配管系の燃圧が上昇する。この動作を2~3回繰り返して燃料系統の各部に漏れがないか点検して下さい。

29. スロットルセンサーの電圧チェック (イグニションスイッチONにて)
黄/青 (+) ~ 緑/黒 (-) 4.75 ~ 5.25V

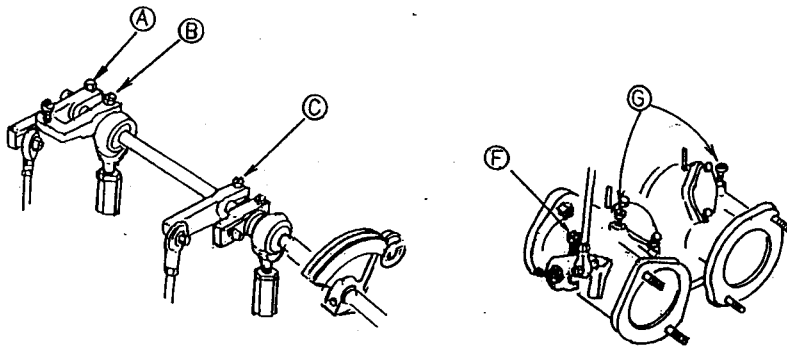
赤/黒 (+) ~ 緑/黒 (-) $\left\{ \begin{array}{l} 0.44 \sim 0.56V \text{ (全開時)} \\ 4.14 \sim 4.82V \text{ (全開時)} \end{array} \right.$

30. エンジンを始動し暖機して下さい。

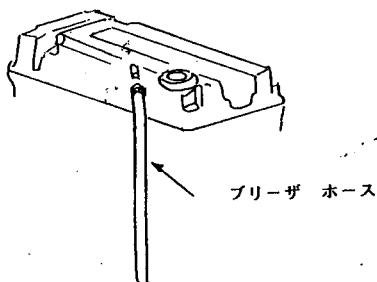
もしエンジンチェックランプが点灯するようであれば、直ちにエンジンを停止し、全てのセンサーカプラーのゆるみ、取付忘れ、誤配線 (延長線の誤り) 等をチェックして下さい

31. スロットルボディのバランス調整をして下さい。

- a. リンケージの各レバーのビス A B C をゆるめてください。
- b. 市販のキャップランサーを使用し、F のスクリューで各スロットルボディの吸入空気量の同調をとり800~1,000rpmに調整して下さい。
この時、G のスクリューは全閉しておく。
- c. 各スロットルボディ 1, 2 の吸入空気量が異なる場合は G のスクリューで同調させて下さい。尚、G のスクリューは全閉が基本です。
(出荷時には基本調整はしてありますので極端にはさわる必要はありません)
- d. 扇形スロットルレバーを少し開き、開き初めの同調を取り、リンケージレバー A B C を固定して下さい。



32. プリーザ (ブローバイ) ホースを取り付けて下さい。(大気開放)
オイルキャッチタンクを装着の場合は、タンクに接続。

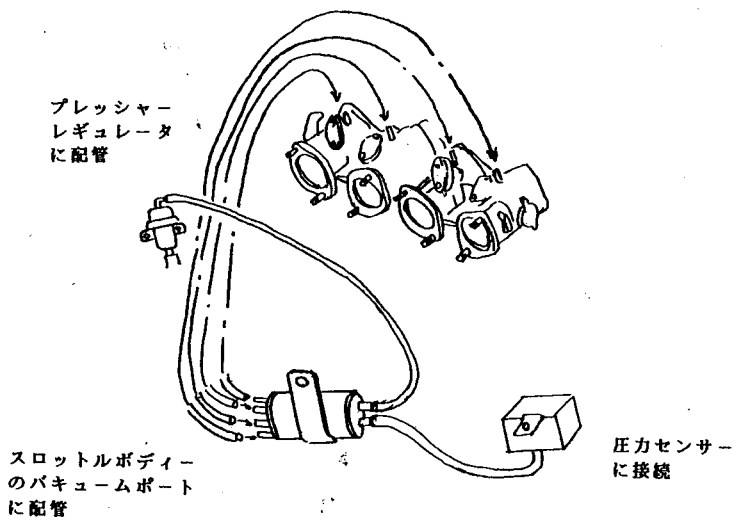


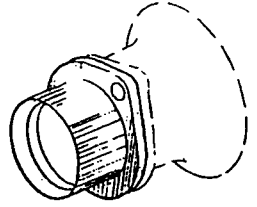
オプションパーツ

バキュームタンク

アイドリングが安定しないとき、ハイカムを入れバキューム負圧が安定しない場合に使用します。

取付要領



INTER**FiT**

SELECT FOR OPTIONAL PARTS

INTER FiTは、FiTの中低速のファンネル効果をもとに開発されたものです。

エア・ファンネルは5000rpm以上の高速域で、はじめてそのファンネル効果を発揮しますが、中低速域ではその効果は期待できません。

INTER FiTは低中速域で慣性過給効果を積極的に活用し流速を速め低中速域のパワー、レスポンスを向上させます。

*特長

- 1、中低速域のパワー・トルクが向上します。
- 2、中低速域のレスポンスが向上します。
- 3、エンジンの仕様に合せて口径を選べます。(内径 30、34、38mm)
- 4、取り付けが簡単です。(FiT本体よりファンネルを外し間にINTER FiTを入れます。)

